

取扱説明書

■機能

時計機能：①時刻表示 ②日付表示 ③アラーム ④時報

ストップウォッチ機能：①1/100秒ストップウォッチ ②スプリット計測機能

■主なボタン操作

Aボタン（「MODE」ボタン）

「時計機能」→「ストップウォッチ機能」→「アラーム時刻合わせ」→「時計合わせ」の順で機能を切り変えることができます。

※ストップウォッチを使用したときは、Aボタンを1回押すと「時計機能」に戻ります。）

Bボタン（「RESET」ボタン）

時計機能のとき：アラーム時刻の表示

ストップウォッチ機能のとき：リセット、スプリット計測

Cボタン（「START/STOP」ボタン）

時計機能のとき：日付表示

ストップウォッチ機能のとき：スタート、ストップ



■時刻・日付の合わせ方

1. 時計機能の状態からAボタンを3回押すと、「秒」表示が点滅し時計合わせの表示になります。
2. Cボタンを押すと「秒」表示が「00」になります。
3. 次にBボタンを押すと「分」表示が点滅しますので、Cボタンを押して「分」を合わせてください。
4. 次にBボタンを押すと「時」表示が点滅しますので、Cボタンを押して「時」を合わせてください。
※画面右側に「A」が表示されているときは午前、「P」が表示されているときは午後を表します。
24時間表示の場合は「H」が表示されます。
5. 次にBボタンを押すと「日」表示が点滅しますので、Cボタンを押して「日」を合わせてください。
6. 次にBボタンを押すと「月」表示が点滅しますので、Cボタンを押して「月」を合わせてください。
7. 次にBボタンを押すと「曜日」表示が点滅しますので、Cボタンを押して「曜日」を合わせてください。
8. 最後にAボタンを押して、時刻、日付、曜日の設定は終了です。

■日付表示

時計機能の状態ではCボタンを押すと、ボタンを押している間、日付が表示されます。

■アラーム機能／アラーム時刻の合わせ方

1. 時計機能の状態からAボタンを2回押すと、アラーム時刻合わせの表示になります。
2. はじめに「時」表示が点滅しますので、Cボタンを押して「時」を合わせてください。
3. 次にBボタンを押すと「分」表示が点滅しますので、Cボタンを押して「分」を合わせてください。
4. 最後にAボタンを押して、アラームの設定は終了です。
5. セット時間になりますとアラームが約1分間鳴ります。アラームを止めるときはBボタンを押します。
Cボタンでアラームを止めると、スヌーズ機能が働き、5分後にまたアラームが鳴ります。
スヌーズ機能を解除する場合はBボタンとCボタンを同時に押します。
※このとき「A」の点滅は続きますが、スヌーズ機能は解除されています。）
6. アラームのON/OFFの切り換えはBボタンとCボタンを同時に押します。画面の右上のアラームマーク「A」が表示されていれば、ONの状態、表示されていなければOFFの状態を表します。

■時報のON/OFF

1. 時報のON/OFFの切り換えはBボタンを押しながらAボタンを押します。
2. Bボタンを押している間、時報のON/OFFを確認することができます。画面上部に「-----」が表示されていれば時報ON、表示がなければ時報のOFFを表します。

■ストップウォッチ

(通常のタイムを計測する)

1. A ボタンを押して時刻表示モードから、ストップウォッチモードに切り換えます。
2. C ボタンを押すと計測が始まります。
3. もう一度C ボタンを押すと計測が止まります。
4. B ボタンを押すとリセットされます。

(スプリットタイムを計測する)

1. C ボタンを押すと計測が始まります。
2. B ボタンを押すと表示が止まります。
3. もう一度B ボタンを押すと止めていた時間が加算され、スタートします。
4. C ボタンを押すと計測が止まります。
5. B ボタンを押すとリセットされます。

●電池寿命

このタイマーは新しい正常な電池を組み込んだ場合、約1年間作動します。

(1日30秒アラームを鳴らした場合)

製品に組み込まれている電池は動作確認用電池ですので表示期間より電池寿命は短い場合があります。

●電池交換 (使用電池: アルカリボタン電池 LR44 × 1 個)

電池寿命が切れた場合は保証期間内であっても電池交換は有料となります。電池交換は必ずお買い上げ店、または時計専門店でご用命ください。電池が切れたまま長時間放置しますと故障の原因になりますのでお早めに交換してください。

●製品仕様

アラーム鳴動時間	約1分間
最大計測時間	23時間59分59秒
動作温度範囲	0℃～40℃
電池	DC1.5V (アルカリボタン電池LR44×1個)

●製品についてのお願ひ事と注意

- 1) 高温、多湿や磁気の多い場所に置かないでください。
- 2) 加熱、分解、充電、改造、水中や火中でのご使用は避けてください。
- 3) 落下や衝撃は故障の原因になりますのでご注意ください。
- 4) 本体の汚れはかたく絞ったふきんで拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤をふきんにつけて拭き取ってください。お手入れの際、シンナー・ベンジン・ガソリン・灯油・アルコールなどは使わないでください。変色、変形、破損のおそれがあります。



電池についての警告

- ショートさせたり、分解、加熱はしないでください。また、火中に投げないでください。発熱、液漏れ、破裂の原因になります。
- 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合はきれいな水で洗い流し、目に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると発火、破裂の原因になります。



電池についてのご注意

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液漏れや破裂のおそれがあり機器の故障、けがの原因となります。

- ※ 電池の極性 (+・-) を正しく入れてください。
- ※ 使い終わった電池はすぐに器具から取り出してください。
- ※ 長期間使用しない場合は電池を取り出しておいてください。